

第 21 回 評 議 員 会 議 事 録



日 時 : 令和3年3月26日(金)
16時00分から17時00分まで
場 所 : サンセール盛岡



公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団第21回評議員会議事録

日 時 令和3年3月26日(金)
16時00分から17時00分
場 所 サンセール盛岡

【出席評議員名】

小笠原 義 文 小 野 保 鎌 田 英 樹 久 慈 竜 也
百 濟 和 夫 鈴 木 悦 子 高 橋 政 代 平 藤 淳

【欠席評議員名】

熊 谷 きえ子 千 葉 正 宏 長 棹 のぞみ 藤 原 哲

【出席監事名】

水 本 紘 一 猿ヶ澤 頭 洋

【欠席監事名】

なし

【出席理事名】

細 川 倫 史 石羽根 恵 子 清 水 茂 幸 鈴 木 清 也
鈴 木 祐 子 宮 昌 隆 小 友 善 衛 千 葉 秀 樹
佐々木 賢 治

【欠席理事名】

なし

【議決事項】

- 議案第1号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員会副会長選出について
議案第2号 令和3年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について
議案第3号 令和3年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について

【議事の経過】

開 会

出席評議員数の報告 出席評議員数 評議員数12名中 出席8名

理事長あいさつ

議事録署名人の選出 議事録署名人 鈴木悦子評議員、平藤淳評議員

議 事

議案第1号 議案第1号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員会副会長選出について

(百濟和夫評議員) 鎌田英樹評議員を推薦したい。
(小笠原義文評議員) 鎌田英樹評議員を副会長に選出することに異議はないか。

(異議なしの声あり。)

採 決

議案第1号については、鎌田英樹評議員が満場一致により副会長に選出された。

議案第2号
～議案第3号

議案第2号 令和3年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について

議案第3号 令和3年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について

質 疑

(高橋政代評議員)

令和3年度事業計画を説明いただいたが、どの施設の説明においても施設の老朽化という点が非常に気になっている。議案書には老朽化による施設の不具合が生じているという記載もある。また、配布資料の県出資等法人に係る中期経営計画書の3ページの4-2法人を取り巻く経営環境の変化の弱みの欄には、管理施設の老朽化について記載があり、事業団としても弱みとして認識されているのだと思う。加えて、配布資料の令和2年度包括外部監査の結果報告書の10ページには、県営体育施設の老朽化への対応について記載があり、対処療法的な対応に留まっているのだとか、いつ故障するか分からない、故障した場合には長期間利用不可能となり予定されている大会が開催できないなど、大問題に発展する可能性があるといった内容が書かれている。このことについて県は利用者への危険性、法に抵触するなど緊急性の高い事項を優先しており、必ずしも指定管理者の要望のと通りの優先順位とならないと回答している。しかし、指定管理者からの意見をみると、本当に利用者の安全の確保を優先して実施しているのか疑問がある。さらに、監査人の所見では、3年前から同様の指定管理者からの意見が確認でき、ほぼ改善措置は講じられていないとされている。ついでには、県に対してどのような協議を行っていたのかお聞きしたい。加えて、同報告書の13ページには監査人から解決の方向性が示されており、現在、県が策定中の個別施設計画において、計画的な改修が進められるものと考えられると記載があるものの、漠然とした内容で、いつ実行されるのか分かりかねる。事業団には利用者の安心や安全を何よりも優先していただきたいということを希望しており、このままでは小さな子から年配の方まで支障がでてくることが想定される。予算の兼ね合いもあると思われるが、迅速に対処できないものかお聞きしたい。

(事務局)

県営施設については、指定管理者の立場として毎年度必要な修繕箇

所や改善箇所を調査のうえ、利用者の安全性の確保という点を重視しながら優先順位付けを行ったうえで、県に対し協議をしているところである。しかしながら、ただいまお話があったとおり、県の予算の兼ね合いもあることから、少しずつしか修繕が実施されていないのが現状である。指定管理者としても、日頃から巡回、点検を実施し、安全対策に取り組んでいるところである。

(高橋政代評議員)

指定管理者の努力と予算の都合はよく分かるが、何か起きた後では遅いと思う。何か起きた後では、周囲からの批判も相当あるのではないか。老朽化が進んでいる施設であるのだから、安全という点をより重視し、県へ積極的に協議していただきたい。

(事務局)

ただいま頂いたご意見を肝に銘じてまいりたい。補足させていただくと、緊急性がある破損等については、県へ協議し、修繕が実施されているものもある。緊急でなくても老朽化が進んでいるものについては、継続して県へ協議を行ってまいりたい。加えて、令和2年度包括外部監査の結果報告書については、監査人から知事や議会へ報告されており、県も内容について認識しているものと考えている。事業団としても、引き続き要望していく。

(久慈竜也評議員)

令和3年度収支予算書について、昨年の評議員会で説明があった令和2年度収支予算においても500万円の赤字予算を組んでおり、令和3年度も同様に500万円の赤字として計上されている。準備金を充当するというお話しであったが、令和2年度で準備金は消化しているのではないのか。安定して給与や賃金を払っていけるものなのか、本当に資金ショートする恐れがないのかお聞きしたい。

(事務局)

500万円の原資というのは、平成30年度に余剰金が発生した際に、その内の1,500万円を準備金として積み立てたものになる。県営体育施設の環境整備に充てる目的で積み立てており、令和2年度から令和4年度までの3か年で500万円ずつ執行するという計画を立てている。当該準備金は正味財産に表れるものであるが、損益計算書には表れてこないため500万円の赤字として記載している。

(久慈竜也評議員)

修繕費用等に充てることを目的に積み立てた資金を、一般会計に流用するという理解でよろしいか。

(事務局)

おっしゃるとおりである。平成30年度に積み立てた1,500万円が正味財産として残っているということになるので、取り崩しながら執行

する必要がある。公益法人会計の特殊性があり、公益目的事業会計で生じた余剰金は積み立てることが可能である。逆に申し上げると、余剰金が発生した際に将来執行する目的で積み立てなければ、公益認定上、適当ではないという判断がなされてしまう。

(小野保評議員)

私共が管理している国立岩手山青少年交流の家でも供用開始から 50 年が経過し、高橋評議員がおっしゃったように施設の老朽化について、同様の問題を抱えている。青少年の家においても、安心、安全というのは非常に重要な事項であると認識しており、国の国土強靱化計画の予算で主にライフラインの整備ができないか協議を進めているところである。話は変わるが、コロナウイルス対策という点で、各青少年の家は苦慮されていることと思われる。コロナ禍の下での広報という点で考えた際に、SNS であるとかインターネット上に体験活動の様子やスポーツの素晴らしさを発信していくということが、今後、重要視されていくものと考えている。そこで、コロナ禍において事業団では、どのような方法でスポーツや青少年の家の PR を検討されているのかお聞きしたい。

(事務局)

事業団全体の広報という点では、パンフレットやホームページを活用し発信しているところである。個々の施設においても、独自に広報計画を立てており、例えば、県北青少年の家では FM ラジオに出演し PR を行っている。本日実施した施設長会議においても新規の SNS を活用した広報の提案もなされたところである。来年度に向けて広報活動の検討を進めてまいりたい。

(小野保評議員)

もし新たな取り組みなどの提案があれば、私共の国立岩手山青少年交流の家とも連携して進めさせていただければありがたいと考えている。

左々木賢治理事
兼陸中海岸の家所長)

ぜひ青少年の家 3 施設との連携をお願いしたい。青少年の家もコロナ過で利用者が減少となっており厳しい状況におかれている。利用者からは活動をしたいという要望があり、施設の利用希望はいただいているものの、コロナウイルスの状況もあり、やむを得ずキャンセルの連絡があるという状況となっている。広報についても、これまでは職員が直接出向いて行っていたが、今後は対面式の広報活動は難しくなっていくのであろうと考えている。このような中で、Facebook 等の SNS を活用した広報は有効な手段であると思うが、昨今、Line の情報流出の問題も取り沙汰されており、慎重に検討を進めていかなければならないと考えている。

(小笠原義文評議員)

施設紹介や1年間分の実施事業などをまとめたパンフレットを拝見したが、例えば、陸中海岸青少年の家の海釣り道場といった事業は非常に魅力があると思う。こういった魅力ある事業をマスコミ等に情報提供し積極的に広報してもらいたい。また、年間分を1冊にまとめたパンフレットだけでは、時間がたつと忘れられてしまうと思うし、ホームページでの広報も普段利用しない方は見ないと思う。PRの方法については、随時検討を進めていただきたい。

採 決

議案第2号及び議案第3号については、原案どおり満場一致で承認された。

そ の 他
(事務局)

(令和2年度包括外部監査の結果報告書及び野外活動センターについて説明された。)

閉 会

上記記載に相違ないことを認める。

令和3年4月6日

議 長 小笠原義文 

議事録署名人 鈴木悦子 

議事録署名人 平藤 淳 

